

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2025年7月6日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 577「聖なるものと」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 586「いかにけがれたる」	一 同
教会学校	紙芝居「私の民を自由にしなさい」	牧 師
讃 美	聖 歌 424「告げよ主に」	一 同
聖書朗読	使徒行伝17:10-15	
奨 励	使徒行伝の福音(第61回)	牧 師
主 題	「聖書探検の魅力」	
讃 美	聖 歌 151「妙なるいのちの」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 379「主よこのところを」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝 17:16-34	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

7/6(日)聖日礼拝
/7(月)
/8(火)
/9(水)
/10(木)10:00祈り会
/11(金)10-12:00BSカフェ
/12(土)13-16子供オーブンハウス

《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

スナップショット

「ベレヤでのパウロ」



(使徒17:10-12)そこで、兄弟たちはただちに、パウロとシラスとを、夜の間にベレヤへ送り出した。ふたりはベレヤに到着すると、ユダヤ人の会堂に行った。ここにいるユダヤ人はテサロニケの者たちよりも素直であって、心から教を受け入れ、果してそのとおりかどうかを知ろうとして、日々聖書を調べていた。そういうわけで、彼らのうちの多くの者が信者になった。また、ギリシヤの貴婦人や男子で信じた者も、少なくなかった。

2025「聖書探検の魅力」(25/7/22)

担当：旭ヶ丘キリストの教会 千田俊昭

「聖書って難しい！」と思っていませんか？聖書は言わば「宝の山」です。それは私たちに命と喜びを与える愛の神の言だからです。でも宝は探して掘り起こさなければ埋まったままですから、聖書を読むことは「探検」することに似ています。探検に大切な5WIH(いつ？どこで？…)を考えた、実際に探検してみましょう！そんなワクワクなひとときとなればいいなと思っています。

「探検」：知られていない土地へ行って実際に調べること

「検」は調べる意味なので、**危ない**感じが強い時は「**険**」を使う。

1. 宝探し

- (1) あなたにとって宝とは何ですか？
- (2) 聖書は何と言っているのでしょうか？ 箴言 8:17-21、コロサイ 2:1-3

2. 探検の具体的方法はどれくらいよいのか？ 5WIH

- (1) 「昔、そこで、彼らに、何を？」を探す

- | | |
|------------|----------------|
| ① When いつ？ | ② Where どこで？ |
| ③ Who 誰が？ | ④ What 何を？ |
| ⑤ Why なぜ？ | ⑥ How どのようにして？ |

- (2) 「今、ここで、我らに、何を？」を問う

So What だから、今、何を意味しているのか？

(3) ルール

- ① 昔に意味されていなかった事は、**今も**意味されることはない。

× 文意・文法・文脈無視；根拠なき新説・珍説・新解釈；

混同・こじつけ・こね回し；埋め込み、読み込み、詰め込み過ぎ

- ② 焦点は「**宝**」にあり、「**発見者**」にはない：× 自己主張、自己満足、自己実現

- ③ イエス・キリストはどこにおられるか？

3. では、いざ探検へ！



■ピリピ (英) Philippi, (希) Φιλιπποι)

エーゲ海を南に望む、マケドニアの主要都市で、海港ネアポリスからエゲナティア街道を北西へ15キロほど入った、パンガエウス山北東の平原にあった(使16:11-12)。

- ② 前356年、マケドニアの王フィリッポス2世(アレキサンダー大王の父)がパンガエウス山の金鉱開発のために、それまでクレニデス(「泉」という意味)と呼ばれていた町を拡張して城塞都市とし、自分の名前に従ってフィリッピ(ピリビ)と改名した。金鉱は大量の金を産出し、フィリッポス2世が金貨を鑄造したことが知られている。



③ オクタヴィアヌスは前42年、アントニウスと共に、カイザルを暗殺したブルータスとカシウスをピリビ近くで打ち破り、さらに前31年にアントニウスとクレオパトラにアクティウム海戦で勝利を収めてから、勝利を記念してピリビをローマの植民都市とした(使16:12)。以後この町は免税や自由を含むローマ市民の特権を持ち、2人の長官が統治していた(使16:35)。

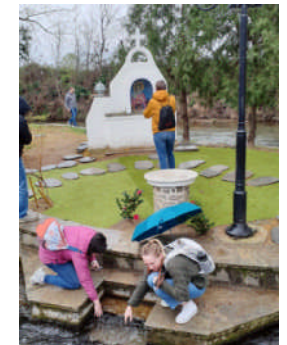
《ルデヤ受洗のガンギティ川》



- ④ 新約聖書時代、ピリビは軍事的にも通商的にも重要な位置を占め、マケドニア地方第一の町となっていた(使16:12)。住民は、ローマ人が退役軍人等の軍関係を中心に約半分、ギリシヤ人が半分で、少数のユダヤ人もいたが、彼らは会堂を建てるほどの数ではなく、川岸の「祈り場」で集会をしていた(使16:13)。

⑤ 使徒パウロはシラス、テモテ、ルカと共に、第2回伝道旅行の際、この町に短期間滞在した。この時、紫布の商人ルデヤとその家族が最初に信者となった(使16:14-15)。その後、パウロとシラスが占いの霊に憑かれた女奴隷の癒し事件で不当に投獄された際、彼らの導きによって、牢の看守とその家族が教会に加えられた(使16:16-40、1テサ2:2)。こうしてヨーロッパ最初の教会がこの町に誕生した。

⑦ パウロは第3回伝道旅行の際にもこの町を訪ね(使20:6)、後年ローマからピリビ教会に手紙を書き送っている(ピリ4:1)。ピリビ教会もしばしばパウロに献金を送ったり(ピリ4:15-18)、ローマ獄中にいたパウロのためにエパフロデトを派遣しており(ピリ2:25-30)、新約聖書の中でも模範的な教会の一つとして成長したことが分る。



パウロ年表

「ピリピ人への手紙」

1. 手紙の冒頭部(1:1-11節)から、ローマ獄中のパウロのどんな気持ちが伝わってきますか？

2. 手紙の本論:信仰の戦い(2章)

内なる戦いとその武器:一致(2:1-18)

- ① 勧め(1-4)
- ② 基盤(5-11)
- ③ 目標(12-18)

3. 探険者パウロ(3章)

- (1) パウロの過去(4-6)
- (2) パウロの現在(7-14)

(3) 「天の国籍」

① 世の国籍(使徒22:25-29; 16:37-39)

② 天の国籍(ピリピ3:20,21) 参照:ピリピ1:20-25; ヨハネ14:1-3

ポリテウマ

πολίτευμα, -τος, τό (<πολιτεύομαι, 市民として生きる) ① (共同の利益で結ばれた) 市民共同体, 国家.
② (外国の) 居留民—本国の πολιτεία (政治組織) にならった社会を形成した。

【織田ギリシャ語小辞典】

4. 最後の勧め(第4章)

- ① (:4-7) “喜びの方程式”
- ② (:8-13) 奨励
- ④ (:19-23) 挨拶と祝福

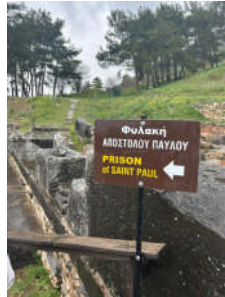
5. まとめ:今回、あなたが発見した宝は何ですか？

Cf. Dt.7:6-8; Isa.43:1-5; 46:3,4



《ピリピのリディア受洗記念教会》

《ピリピの監獄跡》



AD年	出来事・執筆書簡	参照箇所	備考(年代異説)
	パウロ、キリキヤ州のタルソに出生	Cf.使徒 22:1f	5
32/33	ステパノの殉教	使徒 7:1f,7:58,8:1-3	35
33/34	パウロの回心	使徒 9:1f; 22:4f	35
35-43	(沈黙期間、詳細不明)	Cf.ガラテヤ 1:16f	35-37
43	シリアのアンテオケへ	使徒 11:25f	
46-48	第一次伝道旅行 (南ガラテヤ)	使徒 13-14	48-49
48/49	ペテロがアンテオケに来る	ガラテヤ 2:11-16	
48/49	ガラテヤ書		50-55
49	エルサレム会議	使徒 15:1-31	
49-51	第二次伝道旅行 (小アジア→マケドニア→アカヤ)	使徒 15:36-18:22	50-52; 52-53
50/51	I, II テサロニケ書		
52-56	第三次伝道旅行 (エペソ→キリキヤ→エルサレム)	使徒 18:23-21:16	53-57
54-55	I, II コリント書 (+2 ?)		56
55	ローマ書		56
56	エルサレムで逮捕される	使徒 21:26-33	57
57	フェリクスとドルシラ面談	使徒 24:24-26	58
	カイザリヤへ移送・投獄	使徒 24:27	59
58/59	総督フェスト面談	使徒 25	
	アグリッパ王面談	使徒 26	
59-60	ローマへ船で移送・裁判待(自費獄中)	使徒 27:1-28:29	61
60/61	ピリピ書、エペソ書		54/55
	コロサイ書、ピレモン書		
62/63	釈放(スペインへ?)	ローマ 15:25-28	62 ペテロ、ローマへ
	マケドニアへ I テモテ書		64 ペテロ、ローマで殉教
	クレテ、ニコポリスへ テトス書		65/66
63/64	再逮捕ローマへ II テモテ書		67/68
64/65	ローマで殉教		67/68
70/9/2	エルサレム陥落		

